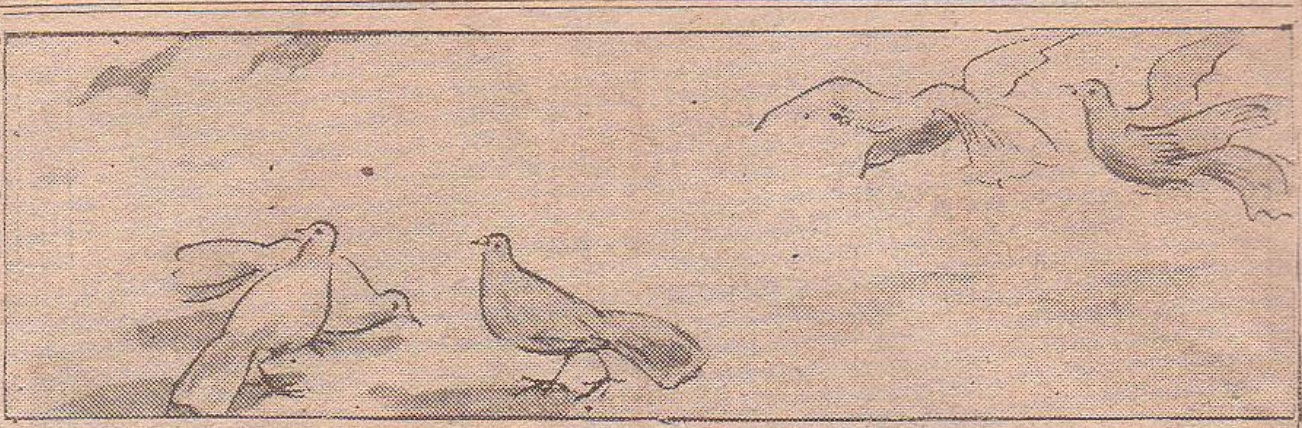


(三) 平和と日英交驩を意匠した花市車十臺中の一

(五) 英國皇太子を拜せんと赤誠以て奉迎する群衆



兩皇儲に學べ

社長 オブスター 星

異に我が皇太子殿下には半ケ年の開渡
歐兒學を試みられ、今回は又英國皇太子
が遙々我が國へ御來訪になられた。
兩皇太子の御交驩は日英親善の楔子と
して兩國の喜ぶ所たるのみならず、兩
國皇太子の御活躍は世界の歴史上にも外
交上にも特筆されべき事柄であらう。現
代に生れた吾々が兩皇太子を畏くも眼前
に拜し得る光榮は云はずもがな、其の床
しい御人格と其のお健かなる御尊體とを
仰いでは今更深く感動せざるを得ない。
蓋し我が皇太子にせよ、英國皇太子にせ
よ、風俗習慣の異なる諸外國人に對して遍
く好印象を與へられたるは、一に其の御
高德の致す所であると同時に、又氣候風
土の異なる地域に於て殆んど目まぐるしい
程に心身を勞せられたるが、何等お疲れ
も見えないといふのは、これ實に御健康
の致す所ではあるまいか。然り英國皇太
子が歐洲戰爭の時一般將卒と共に硝煙彈
雨を浴びられ、或は斬壕生活をもなされ
たといふのも御健康によるのであり、又
我が皇太子殿下が攝政の御重任を帯びて
日夜國務に御盡瘁遊ばされる事は誠に恐
懼に堪えないが、殿下の御健康こそ萬民
の壽き奉る所である。

間と思ふたのである。むかしはそれでも
好かつたかも知れない。けれども今日は
何國の世襲財産のある上流社會の人と雖
も其の運動遊戯の間に於てさへ常に衛生
を重んじ健康を増進せんことを心掛けて
ゐる。言ひ換えれば、たとへ遊んで暮せ
る人でも健康の必要なることを自覺したの
である。況んや事を爲さんとする人に於
てをや、況んや平民に於てをや。吾々に取
つて健康こそ實に第一の資本なのである
吾々は將來の大任を自覺なされてゐる
兩皇太子の御健康を拜しては、學問、事
業其の他如何なる技藝にまれ、街くも萬
人の長たり首腦たらんと欲する者は先づ
第一に健康を重んじなければならぬとい
とを痛感するのである。見よ古今の歴史
に於て弱弱なる者が何を爲し得たか。英
雄、豪傑、聖哲、偉人と云はれるほどの人
は皆健康を保つて絶大の勢力を揮ひ最高
の能率を發揮したのである。日本では秀
吉にしても伊藤公にしても大隈侯にして
も皆健康の持主であつた。そして彼等は
一生の間最大努力を續けたのである。才
子多病だなど云つて多病を才子の特徵
かの如く心得る者あらば迷妄も甚だしい
吾等は兩皇太子の御健康を壽ぎ奉る
と同時に目下御不例に亘らせらるゝ我が
天皇陛下の御恢復を伏して禱り奉る。

新報知第拾參卷五月號
紙(藤柳) 清原重一筆
兩皇儲に學べ 星

英國皇太子 Z.Y.生(三)
香床しい薔薇の花 A.S.生(三)
紳士の修養 碧海生(三)
英國の生んだ偉人 濠外生(三)

濕疹の療法 櫻根幸之進(四)
妊娠中の注意 佐木順一(五)
小兒の體異狀 佐々秀雄(六)

法律相談(大澤辯護士) (六)
自由論議 (六)
花柳病取締 池田 林儀(七)
夫婦喧嘩諸相 青味亭九面(四)
結婚の悩み 谷川 マツ(五)

家庭讀物 (六)
五右衛門の妻 影山 駿(三)
少女泣くお人形 久美 子(三)
鴉の大将 早川 一郎(三)

家庭記事 (六)
苦しい東京人 乾坤 道士(四)
五月の運勢 (四)
懸賞文壇 (四)

創作 (六)
偉人畫傳古今東西時事寫眞
懸賞募集

田山 花袋(三)
小部 小品文 若い父親 茨城瀧遊雲△小
説「謎の死」一埼 Y.S.子
部 △和歌△俳句△川柳△冠句△但論△
謎△一口嚼△物は付△